

ペロズステーション
**PERO'S
STATION**



東映アニメーション株式会社

第84期 第2四半期のご報告
(2021年4月1日～2021年9月30日)



「世界で『東映アニメーションブランド』を
確立する」を目標に、
映像製作・事業会社としての立場を
グローバルで強めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大の一日も早い収束と、皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

海外版権事業と映像配信事業が牽引し、 売上・各利益において過去最高を記録

上期は、海外版権事業においてゲーム化権・商品化権販売が好調に推移したことや、国内外で映像配信事業が好調だったことから、前期比で増収増益となりました。業績の牽引役が収益性の高い海外事業や配信事業だったことから、売上・各利益とも、過去最高を記録しました。

中長期のIPポートフォリオ戦略について

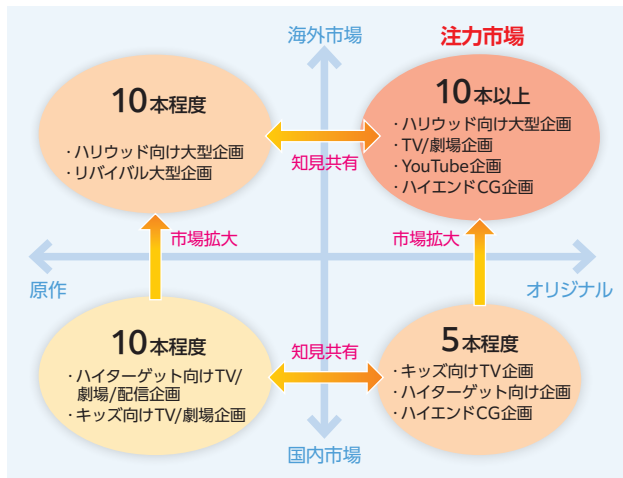
昨年度末には、中長期の作品ポートフォリオを初めて皆さまへ公開しました。今回はその補足とアップデートです。

私から強調したいのは、当社の大きな目標は「世界で『東映アニメーションブランド』を確立する」である点です。作品や事業展開は常にその目標を意識したものとなっています。

当社ではIPを右図の4象限に分け、さまざまな作品を準備しています。

▶ 第1象限(右上) 世界向けオリジナルIP

現在最も注力しているIPです。東映アニメーションの名前をより周知し、外部の状況に左右されない、確固



たる地位を確立するため、自社IPを強化します。すでに数年前から準備を進めていた「The Monkey Prince (仮)」や「KAIJU DECODE 怪獣デコード」がここに位置します。また、この分野を強化する戦略のひとつとして、世界的にも有名な韓国の総合エンターテインメント企業・CJ ENMと業務提携協定を締結しました。互いのライブラリーや、企画・製作のリソースを相互に活用することにより、グローバル市場向けのIPを創出していく考えです。第1象限である世界向けの新規オリジナルIPはもちろん、第2象限(左上)にあたる両社の持つ作品のアニメ化・実写化を含め、2023年からの順次展開を目指します。

▶ 第2象限(左上) 世界向け原作IP

次に準備している作品数が多いIPです。すでにファンがついている原作を世界的に展開することで大規模な収益化を狙います。新規IPの発掘だけでなく、ライブラリー作品の定期的な映像化や、続編・リポート展開により、大きなムーブメントを全世界で起こしたいと考え

ています。現在公表されているものとしては、来年公開の映画「SLAM DUNK」(タイトル未定)や「ドラゴンボール超」、実写版の「Knights of the Zodiac (聖闘士星矢)」が挙げられます。ハリウッドでは自ら企画開発・出資・製作・宣伝・配給ができるプロデューサーが強い権限を持ちますが、当社はその機能を全て持つ上、日本のアニメ市場で培ってきた経験とノウハウがあります。ハリウッドの仕組みと当社の強みを組み合わせ、「聖闘士星矢」の海外実写化が実現しました。今後も映像の形態や媒体にとらわれず、IPを多様に活用して世界的に価値を高められるよう、注力していく方針です。

▶ 第3象限(左下) 国内向け原作IP

▶ 第4象限(右下) 国内向けオリジナルIP

当社がこれまで最も活発に展開してきた得意分野です。引き続き力は惜しみませんが、近年の製作費の高騰を考えれば、国内だけで利益を拡大させることは難しい環境になりつつあると感じています。国内が主なターゲットであっても、最終的には国内に留まることなく世界でヒットし収益を上げられるIPとなるよう、意識して構築していく方針です。

「世界で『東映アニメーションブランド』を確立する」を目標に、IPの開発と映像製作を強化し、グローバルで事業を展開する映像製作・事業会社としての立場を世界的に強めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともよりいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月

代表取締役社長

高不勝裕

HOLLYWOOD ハリウッドで、 グローバルIPを作る製作会社へ

車田正美原作「聖闘士星矢」の実写ハリウッド映画、そしてフルCGハリウッド劇場映画「The Monkey Prince(仮)」など、当社のハリウッドビジネスを担っている企画部 海外企画室の池澤シニアプロデューサーにインタビューを行いました。

シニアプロデューサー
池澤 良幸

実写ハリウッド映画版「Knights of the Zodiac(聖闘士星矢)」
「The Monkey Prince(仮)」のプロデューサー。
現在、企画部 海外企画室 シニアプロデューサー。



■ 世界から見た日本アニメの現状と、東映アニメーションの目標を教えてください。

日本のアニメには、目に見えない二つの壁があります。一つは少子化による日本マーケットの縮小。もう一つは、日本アニメの海外マーケットにおける拡大余地の限界です。

少子化に関してはいろんな分野で議論されていますので割愛します。日本アニメというと、全世界で今後の成長が望める、というのが一般的な見方です。実際、一般社団法人日本動画協会発表の「アニメ産業レポート2020」によると、2兆5千億円といわれる市場規模があり、その中で当社の貢献度は圧倒的に高いと理解しています。しかし、日本アニメのマーケットは、北米を中心とした子どもやファミリー向けのメインストリームからすると、ニッチであるのも事実です。海外の大手リサーチ会社The Insight Peopleでも、この差は20~30倍はあるという統計を出しています。どんなに日本アニメが売れるようになって、全く別の大きなマーケットがあり、そこにはまだ入ってい

ないというのが現状です。

そこで、このメインストリームの末端でもいいから到達し、安定的に作品を作り続ける、という目標を立てました。

■ 東映アニメーションと他社の違いは何ですか？

それは当社が映像製作会社であることです。自分たちで実際に作品をつくるノウハウや機能を持ち、60年以上も日本で最前線を歩んできました。今回は、その舞台が北米に変わるというだけで、基本的には今までやってきたことと同じです。ハリウッドでは自分たちで企画開発、出資、製作、宣伝、配給ができるプロデューサーが強い権限を持ちます。規模の違いはあれど、当社はその機能をすべて持ち、日本のアニメマーケットで培ってきた経験とノウハウがあります。これが当社と他のコンテンツ企業の違いであり、強みになります。他のIPホルダー企業は、アニメ・漫画原作の映画化権をライセンスしたり、出資したりし、国内の配給権を確保することがメインのスキームです。これに対し当社は、製作会社

としての立場を活かし、配給会社と製作会社という関係でハリウッドメジャースタジオと交渉し、当社が特定のリスクを負うことに対してのリターンを得ます。例えば、IPの著作権やビジネスの独立性の確保、リスクに見合った収入など、IPビジネスを自分たちでコントロールできる自由度を獲得することになります。ハリウッド映画が一本できたとしても、その収入は一時的なものです。ハリウッド映画での展開を含めたグローバルなIPビジネスを展開しないと、本質的な発展はありません。そこで、ハリウッドでメインプロデューサーとしての地位を築き上げていく活動に入りました。

■ どうやってハリウッド映画製作システムを築いたのですか？

コンテンツ製作のグローバルスタンダードを取り入れていく、ということをしました。シンプルですが、法律、商習慣、会計基準が異なる国々で業務を執り行うので、特に上場している当社が、日本法を順守しながらどうやってこれらを達成していくか、というのが大きな問題でした。国によっては、ギルドとの取決めや助成金など、特定の法律に準拠した会社を設立することが要求されます。ハリウッドだけでなく、関係するすべての国において多くの弁護士、労務・会計の専門家、監査会社と、数年かけてシステムを作り上げていきました。

当社は製作会社として、作品を作り続け、世に送り出し続けなければなりません。そんな素地があるため、世界で活躍されているクリエイターと、「こんな作品があったらおもしろいよね!」「今度ウチでやるから一緒にやろうよ」と話すことからすべてを始めます。当社が日本アニメ製作会社として世界中でヒット作を作り出してきたという、諸先輩のご尽力が信頼度となり、私たちの営業にプラスとして

働きました。先の話に戻すと、「ウチの会社、こんなコンテンツ持っているから、映画作らない?」という企業と比べると、当社は材料を集め、調理もして、お客さまの好みに合わせて味付けも変え、完成品としてご提供できる。これが製作会社であり、メインプロデューサーである強みとなります。そのような意味で、製作会社である東映アニメーションだからこそできたのではないかと信じています。

■ 最後に、一言お願いします。

先日撮影をアップしたハリウッド実写映画版「Knights of the Zodiac(聖闘士星矢)」や、フルCG劇場アニメーション映画「The Monkey Prince(仮)」で、ようやく今までの努力が形になってきました。ただ、これはまだ最初の2本に過ぎません。当社が挑戦してきた「ハリウッド映画の製作会社になる」という目標の下に、世界中から、子供心を持ち続ける仲間が集まってきています。これからが本当に楽しみです。



映画「The Monkey Prince(仮)」

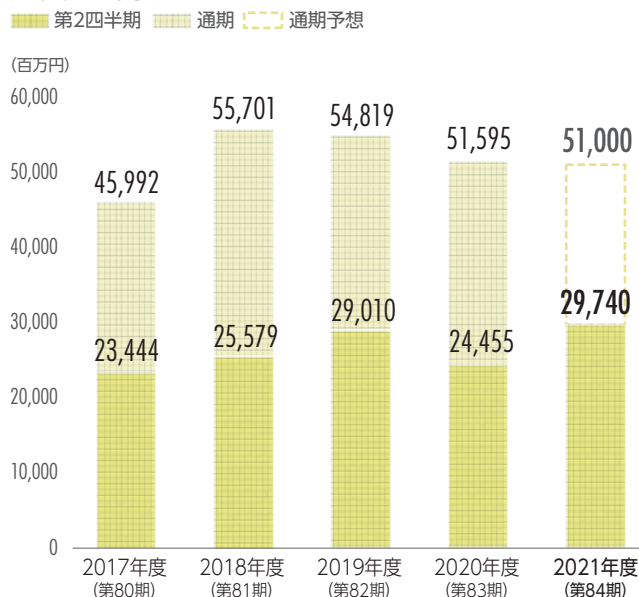


ハリウッド実写映画版「Knights of the Zodiac(聖闘士星矢)」メインキャスト

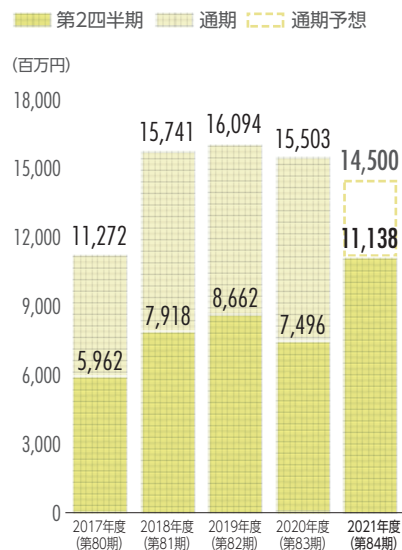
当第2四半期は、「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図るとともに、事業においては特に海外での版權事業および映像配信事業に引き続き注力しました。

この結果、収益性の高い海外版權事業や国内外での映像配信事業が好調に推移したことから、売上高は297億40百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益は111億38百万円(同48.6%増)、経常利益は110億82百万円(同45.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億44百万円(同45.4%増)となりました。

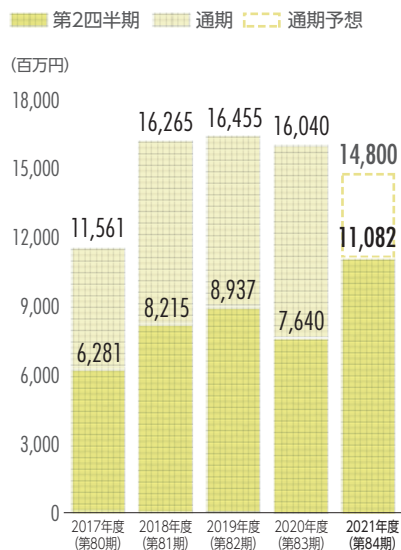
連結売上高



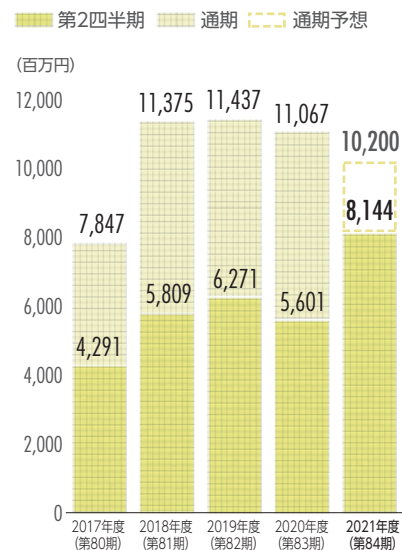
連結営業利益



連結経常利益



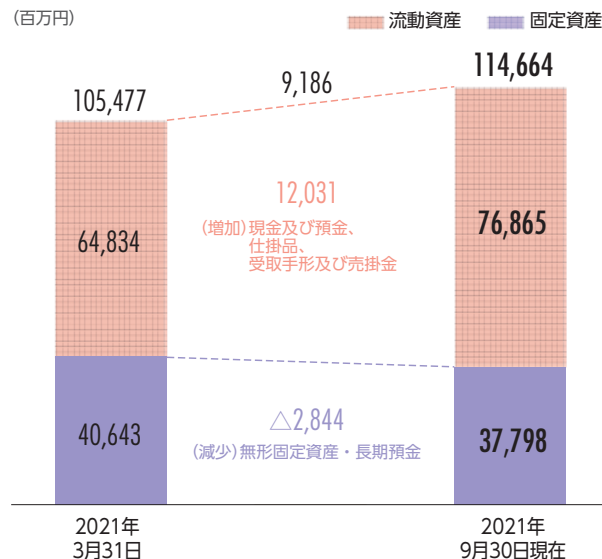
親会社株主に帰属する連結四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表

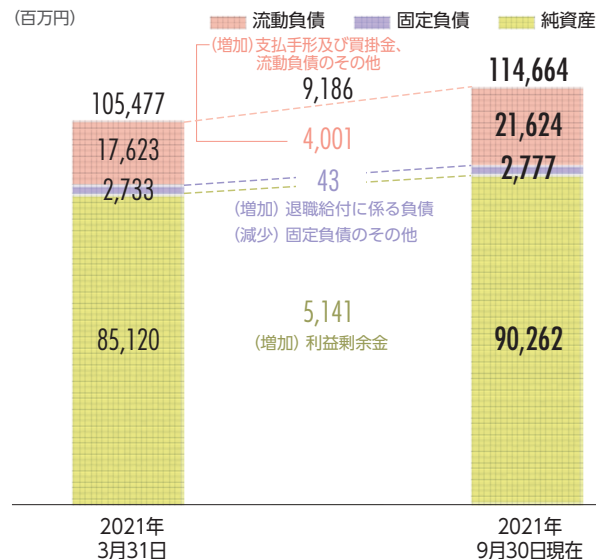
資産の部

(百万円)



負債・純資産の部

(百万円)



POINT

引き続き安定した財政状態を維持しています。総資産は前期末より8.7%増加し、1,146億64百万円、純資産は6.0%増加し902億62百万円、自己資本比率は78.7%と高い水準です。

配 当

当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績などを総合的に勘案して、配当を決定しています。配当性向は連結業績に応じて25%程度を基本としており、2022年3月期は期首予想利益をもとに、一株当たり年間47円としています。今後の配当予想の変更につきましては、連結業績などを勘案した上で別途検討する予定です。

詳細な財務情報のご案内【IR情報】



当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しています。

<https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir.html>

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

テレビアニメや劇場アニメなどを企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、スマートデバイスなど、さまざまなメディアで展開しています。



売上高

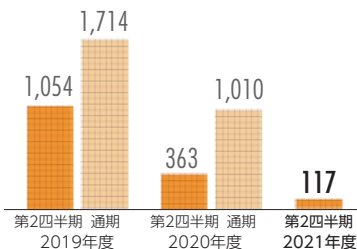
117億83百万円 前年同期比 24.0% 増

劇場アニメ部門

売上高

1億17百万円

売上高推移(百万円)



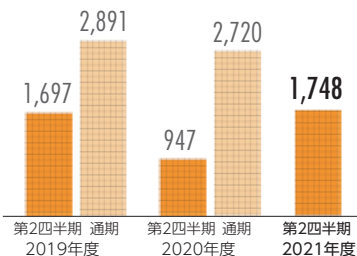
3月に「映画ヒーリングっど♥プリキュア」、6月に「ジャーニー」、8月に「東映まんがまつり」を公開しました。新型コロナウイルス感染症拡大による影響や、前年同期に「美少女戦士セーラームーンEternal」など複数作品の製作収入を計上した反動減から、大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門

売上高

17億48百万円

売上高推移(百万円)



「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」「トロピカル〜ジュ!プリキュア」「ワンピース」「デジモンアドベンチャー:」「おしりたんてい」「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」の6作品を放映しました。放映本数が増えたことなどにより、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

Major Lineup

〈劇場アニメ〉



2021年
8月13日公開

「映画おしりたんてい スフーレ島のひみつ / 深海のサバイバル!」(東映まんがまつり)

〈テレビアニメ〉

1999年
10月~

「ワンピース」



2020年
10月~

「ドラゴンクエスト
ダイの大冒険」



Major Lineup

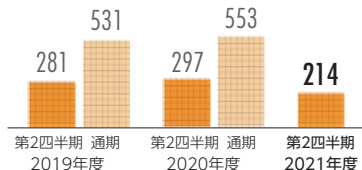
コンテンツ事業部門

売上高

2億14百万円

前年同期好調に稼働した劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」のブルーレイ・DVDの反動減により、大幅な減収となりました。

売上高推移(百万円)



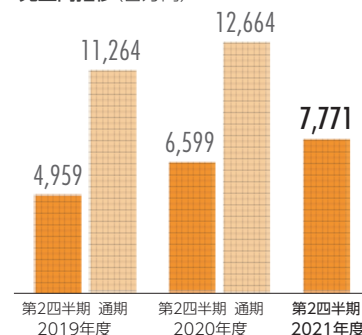
海外映像部門

売上高

77億71百万円

これまで分割計上されていた中国向け大口映像配信権の売上の大部分が一括計上となったことから、大幅な増収となりました。

売上高推移(百万円)



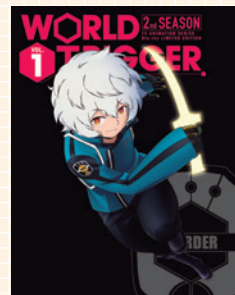
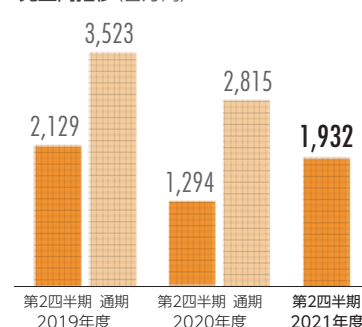
その他部門

売上高

19億32百万円

国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。この結果、映像製作・販売事業全体では、収益性の高い映像配信事業が国内外で好調に推移したことから、大幅な増収増益となりました。

売上高推移(百万円)



Blu-ray / DVD
「ワールドトリガー
2nd シーズン」

Blu-ray / DVD

「映画 ヒーリングっど♥プリキュア
ゆめのまちでキュン！っとGoGo! 大変身!!」



モスクワ国際映画祭出品
「魔女見習いをさがして」

中国向け劇場上映用ポスター
「デジモンアドベンチャー
LAST EVOLUTION 絆」



映像配信サイト
「Netflix」



映像配信サイト
「Amazonプライム・ビデオ」

事業セグメントの状況

著作権事業

テレビ放映や劇場公開などと連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品などの商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。



売上高

167億33百万円

前年同期比
21.2% 増

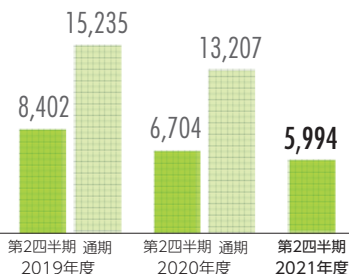
国内著作権部門

売上高

59億94百万円

売上高推移(百万円)

「ワンピース」などの商品化権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことから、大幅な減収となりました。



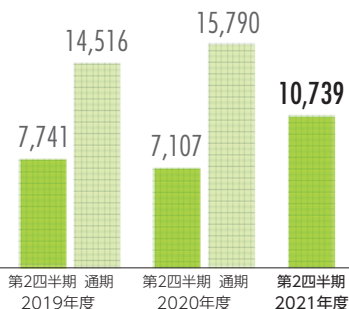
海外著作権部門

売上高

107億39百万円

売上高推移(百万円)

「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売や「スラムダンク」のアプリゲームに加え、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。



Major Lineup

〈国内展開商品〉



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」
「トロピカル〜ジュ!プリキュア」

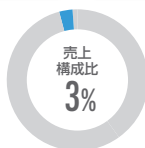
〈海外展開商品〉



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」
「美少女戦士セーラームーン」シリーズ

商品販売事業

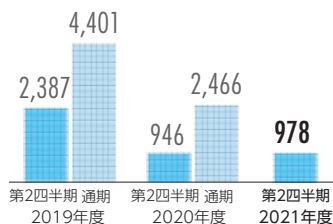
著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。また、イベントや店舗での直接販売も行っています。



売上高 **9億78** 百万円 前年同期比 **3.4%** 増

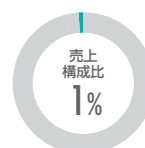
中国において電子取引を中心とした商品販売が好調に推移したことから、増収となりました。

売上高推移(百万円)



その他事業

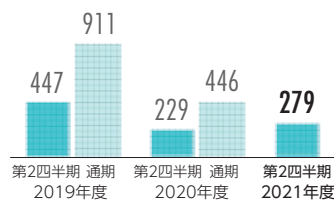
催事やキャラクターショー、ミュージカルなどのイベントの企画・運営を行っています。



売上高 **2億79** 百万円 前年同期比 **21.8%** 増

「プリキュア」シリーズの催事が健闘し大幅な増収となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、拡大による複数の催事イベントの規模縮小により、全体の収益性は低下しました。

売上高推移(百万円)



Major Lineup



「プリキュア プリティストア」東京店

Major Lineup



「おしりたんていミュージカル
～むらさきふじんのあんごうじけん～」

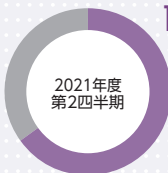


「デジフェス2021」

海外での事業展開

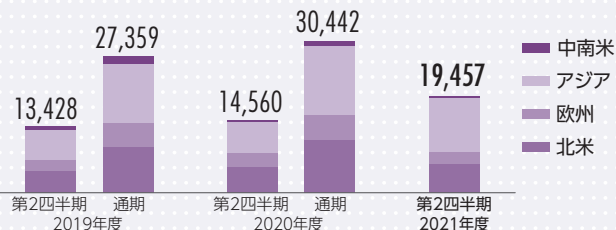
国内・海外
売上高構成比
(百万円)

10,317
(35%)
国内売上高



海外売上高
19,457
(65%)

海外地域別
売上高*推移
(百万円)



*セグメント間取引額を含んでいます。



2021年度実施

株主さまアンケート結果のご報告

2021年7月に実施しました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました2,100名近くの株主さまの中から厳正なる抽選を行い、500名の皆さまに「ワンピース」1種、「ゆる〜いゲゲの鬼太郎」2種のクリアファイルセットを送付しました。今回もアンケート結果のご報告として、皆さまより頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントを紹介します。

アンケート回収状況

回収率

ご回答者の属性

年代別

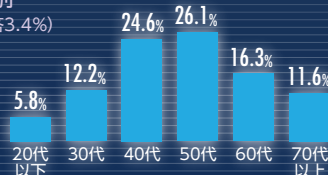
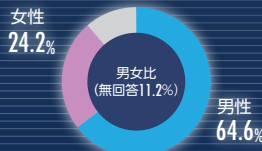
(無回答3.4%)

回答数 2,070名

株主数 7,360名*

*2021年3月末時点

28.1%



当社の株主優待 (キャラクターQUOカード) について

満足している
85.5%



満足していない
11.0%
(無回答3.5%)

童心に返ってほっとする。
娘の好きな「プリキュア」が掲載されており、
離れている娘との思い出にひたれる。
(40代男性)

「ダイの大冒険」があるので。
小さいころアニメを見ていて、
すごく好きでした。
(30代女性)

なつかしいアニメに再び出会えるので嬉しいです。
「人魚姫」映画館で見ました！いろいろなことを思い出しました。(50代女性)

子どもや孫にプレゼントしています。
(70代以上女性)

その年の株主でないとう入手できない優待なので。
(50代男性)

昔のアニメと今のアニメ作品が
両方入っているので大満足しています！(60代女性)

いつも新しい絵柄が見られるから。(30代男性)

「プリキュア」「ダイの大冒険」と、子どもと私も
見ていたアニメがテーマになっていてうれし
く思います。(40代男性)

レアすぎて使えません。過去のもまだ
使っていません(笑)(50代女性)

自社のIPを生かした魅力的な優待だと思います。(40代男性)

物品購入は、デジタルで実施。
カードは使いづらい。(60代男性)

昔のなつかしいアニメが出てくるのが良いです。生まれる前の「もー
れつア太郎」なんてあったんだという発見もあります。(40代無回答)

新旧ともに何種類かの中から選べるとよい。
(30代男性)

QUOカードは平凡なので、貴社でなければ
できない企画を工夫して欲しいです。
(50代男性)

担当者より アンケートご協力をお願い

締切日：2021年12月8日(水)

株主の皆さまとより良い関係を築き上げていくために、本誌郵送時に同封のアンケートにご協力をお願いします。ご回答いただきました方の中から抽選で**300名様**に「ワンピース」2022年カレンダーを進呈します。年内発送に間に合わせるため応募期間が短くなっていますので、ご注意ください。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



皆さまからのご意見・ご質問

Q

特集「サウジアラビアプロジェクト」清水顧問インタビュー、抜群によかった！東映アニメファンのサウジアラビア、中東の人々と共同制作で楽しい作品を作り、笑顔になってほしい！中東友好と世界平和にも貢献してくれる！（60代男性）

A

ありがとうございます。東映アニメーションとサウジアラビアのアニメーション会社「マンガプロダクションズ」との共同作品となる長編アニメーション映画「ジャーニー 太古アラビア半島での奇跡と戦いの物語」が、2021年6月25日（金）に日本で公開されました。公開に先駆け、前号のPERO'S STATIONでは当社の「サウジアラビアプロジェクト」について特集しました。この特集を通じて「あらためて日本のアニメが世界中で愛されているということを知った」というお声をたくさんいただきました。私たちは、「アニメーションは世界を平和に導く大切な役割を持っている」と考えています。今後も東映アニメーションは、アニメーションを通じて世界の人々に「夢」と「希望」を与える“創発企業”となることを目指してまいります。また、サウジアラビアとは、現在「アサティール 未来の昔ばなし」の第2シーズンの製作に取り組んでいます。サウジアラビアプロジェクトの今後の展開にもご期待ください。



「アサティール
未来の昔ばなし」



「ジャーニー」

Q

近年、日本のアニメ業界が、中国・韓国に猛追されているが、日本の底力を見せて欲しい。（50代男性）

A

東映アニメーションは1956年の創立以来、日本のアニメーションの開拓者として演出、作画、美術などの技法で独自の「伝統」を積み重ねてきました。一方で、CG・XR・AIなどの最新のデジタル技術による「革新」にも積極的に取り組んでおり、こうした「伝統」と「革新」の融合による新たな映像表現へ日々挑戦しています。また、才能あふれる製作スタッフがイキイキと働けるより良い組織を実現するために、製作スタッフの待遇改善や働き方改革にも惜しみなく取り組んでいます。今後も、こうした「人財」と「技術」が持つポテンシャルを最大限に発揮できる環境を追求していくことで、競争力の強化に努めていきます。

Q

映画「SLAM DUNK」が楽しみです。ファンも多いのでどんな内容なのか気になります。（50代男性）

A

「SLAM DUNK」の映画化のニュース、とてもおどろきました！まだ詳細は分かりませんが、今から楽しみにしています。「また「SLAM DUNK」が見られるなんて！」と主人も大興奮でした。（30代女性）

ありがとうございます。「SLAM DUNK」の映画化に関しては、日々、世界中のファンの皆さまから多くの反響をいただいています。ご期待に応えられるよう、全力で製作に取り組んでいきます。はたしてどのような内容になるのか……私も「SLAM DUNK」ファンの一人として大変楽しみです。映画「SLAM DUNK」（タイトル未定）は2022年秋公開予定です。ご期待ください！

Q

オンラインイベントは非常に興味深い内容ばかりで、楽しく視聴させていただきました。今後も、オンラインイベントを開催して欲しいです。（30代男性）

スタジオ見学をコロナ後、復活して欲しい。（10代女性）

A

2021年3月に、当社として初めての試みとなる「株主さま限定オンラインイベント」を開催し、多くの株主さまから大変好意的なお声を多くいただきました。皆さまの反響にお応えし、2022年3月18日「株主さま限定オンラインイベント」の開催を決定しました。詳細は次ページにてご確認ください。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館していた「東映アニメーションミュージアム」ですが、（公財）日本博物館協会制定の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえ、感染対策を講じた上で2021年10月21日（木）より再開しています。*

当館では、当社がこれまでに製作した作品や、これから製作する作品をご紹介します。ぜひ世界中で愛されているアニメーション作品に実際に触れ、その魅力を体感してください。きっと、これまでとは違う新しい楽しみ方や発見があることでしょう。

このように、今後もオンライン／オフラインを問わず、皆さまに楽しんでいただき、そして、今よりももっとアニメーションのファンになっていただけるような企画を検討していきます。引き続き、東映アニメーションをどうぞよろしくお願いたします。

※ 再開後は完全予約制となり、入館時には検温・マスクの着用が必須となります。

※ 館内では他のお客さまとの間隔をあける・会話を控えめにさせていただくなど、感染拡大防止にご協力ください。

※ 詳細は当社ホームページをご参照ください。

株主優待のご案内

権利確定日：3月末日

2021年3月期
進呈の
QUOカード



「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」

毎週土曜日 朝9:30～
テレビ東京系列にて
放映中



「トロピカル〜ジュ！プリキュア」

毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「もーれつア太郎」

1969年4月4日～1970年12月25日放映



「アンデルセン童話 にんぎょ姫」

1975年3月21日公開作品

株主優待オリジナルの 「キャラクター QUOカード」を進呈

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

2021年3月期進呈のQUOカード

| 所有株式数 | 優待内容 |
|-----------|-------------------|
| 100株以上 | 1セット (1,200円相当) |
| 300株以上 | 2セット (2,400円相当) |
| 500株以上 | 3セット (3,600円相当) |
| 1,000株以上 | 5セット (6,000円相当) |
| 3,000株以上 | 8セット (9,600円相当) |
| 5,000株以上 | 10セット (12,000円相当) |
| 10,000株以上 | 12セット (14,400円相当) |

トピックス

株主さま限定オンラインイベントを開催します！

日時：2022年3月18日（金）※1

内容※2：① 映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」
スペシャル番組
② 最新製作技術紹介

対象：2021年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主さま

問い合わせ先：ir-mail@toei-anim.co.jp※3

視聴方法・配信開始時間・配信内容の詳細は、2月上旬に案内状を郵送予定です。

※1 配信日から1か月ほどアーカイブ配信する予定です。

※2 当日の配信内容に変更がある場合がございます。ご了承くださいませよう、お願いします。

※3 在宅勤務を併用しているため電話での対応ができません。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。



会社情報 (2021年9月30日現在)

| | |
|--------|--|
| 商号 | 東映アニメーション株式会社 |
| 英文社名 | TOEI ANIMATION CO., LTD. |
| 本社 | 〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表) |
| 従業員数 | 連結 :840名 単体 :559名 |
| 上場市場 | JASDAQ(コード:4816) |
| ホームページ | https://corp.toei-anim.co.jp |

株主メモ

| | |
|-------------|---|
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催します。 |
| 基準日 | 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告します。 |
| 剰余金の配当 | 毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いします。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | TEL:0120-232-711(通話料無料) (受付時間:土・日・祝日を除く 9:00~17:00) |
| 公告方法 | 電子公告 https://corp.toei-anim.co.jp |

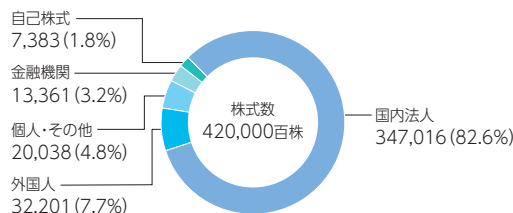
株式の状況 (2021年9月30日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行済み株式総数 | 42,000,000株 |
| 株主数 | 7,341名 |

大株主(上位10社およびその状況)

| 株主名 | 持株数 (百株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 東映株式会社 | 141,000 | 33.6 |
| 株式会社テレビ朝日 | 82,509 | 19.6 |
| 株式会社バンダイナムコホールディングス | 45,372 | 10.8 |
| 株式会社フジ・メディア・ホールディングス | 42,300 | 10.1 |
| JP MORGAN CHASE BANK 380815 | 20,200 | 4.8 |
| 東映ビデオ株式会社 | 13,647 | 3.2 |
| 東映ラボ・テック株式会社 | 10,500 | 2.5 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニー株003口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行 | 7,800 | 1.9 |
| 株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント | 7,800 | 1.9 |
| 東映アニメーション株式会社 | 7,383 | 1.8 |

所有者別株式分布状況 (単位:百株)



お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

注目の

9

作品



「トロピカル〜ジュ!プリキュア」

毎週日曜日 朝8:30~
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「デジモンゴーストゲーム」

毎週日曜日 朝9:00~
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」

毎週日曜日 朝9:30~
フジテレビほかにて放映中



「おしりたんてい」

毎週土曜日 朝9:00~
NHK Eテレにて放映中



「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」

毎週土曜日 朝9:30~
テレビ東京系列にて放映中



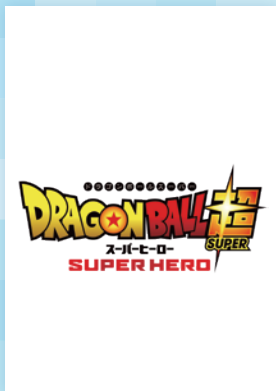
「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」

毎週火曜日 午後6:45~
NHK Eテレにて放映中



「ワールドトリガー」3rdシーズン

毎週土曜日 深夜1:30~
テレビ朝日系列にて放映中



映画「ドラゴンボール超
スーパーヒーロー」

2022年公開予定



映画「SLAM DUNK」(タイトル未定)

2022年秋公開予定

©華原大介・集英社・テレビ朝日・本郷あきよし・フジテレビ・ABC-A・尾田栄一郎・トロール・ポプラ社・おしりたんてい製作委員会・三条陸・稲田浩司・ダイの大冒険製作委員会・テレビ東京・SQUARE ENIX CO., LTD.・廣嶋玲子・jyaja・偕成社・銭天堂製作委員会・2022 SLAM DUNK Film Partners・パード・スタジオ・「2022ドラゴンボール超」製作委員会・Troll・POPLAR・Gomdori co.・Han Hyun-Dong・Mirae N・Jeong Jun-Gyu・Ludens Media・朝日新聞出版・coyote・2021東映まんがまつり製作委員会・2020ヒーリングっど♥プリキュア製作委員会・東映・Manga Productions・MPKFP・東映アニメーション

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。



本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。